

(特非) ラムサール・ネットワーク日本

ラムサール条約と生物多様性条約の水田決議に基づく田んぼ10年プロジェクトの加速化とSDGsを組み入れた新しい水田目標の構築と活動の推進

ひろげる助成

1年目

実践

水田決議円卓会議準備会 7回

「田んぼ10年だより」の発行 3回

今年度計画の達成度 88%

目標達成度 30%



課題

国内の多様な人々の力を束ね、水田の生物多様性を主流化する活動を展開し、達成度を高める。国外では各国関係者の取組みを状況に合わせて、支援できる仕組みを作る。

目標

「田んぼ10年プロジェクト」を各地で拡大浸透させ、2020年度に、SDGsなどを組み、新・田んぼ10年計画を完成させ、2021年からの移行準備体制を整える。

活動内容と成果

2020年がゴールの「田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト」を促進し、水田の生物多様性の主流化をめざしながら、ポスト2020年の新10年計画の準備も始めた。参加者数は国内で250個人/団体を越え、国外では、各国の状況に合わせた活動も行っている。ラムサール条約COP13(ドバイ)で水田のサイドイベントとブース展示を実施。フィリピンでは棚田の生物調査と意見交換会を開催した。田んぼ10年だよりを3回発行。全国大会、地域集会(豊田市)を開催。農水、環境、国交省と水田決議円卓会議を7回開催。



「田んぼ10年地域交流会」参加者(豊田市)

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

田んぼが多様な生き物のすみかであることを知らない人たちは、数が多く、関心も薄いので、関心を高める工夫が必要。

■工夫した点

水田雑草などを食べる「田んぼを食べる」取り組みを行い、生き物が資源になることを体感し、関心を高める取組みも行った。

活動地域 |  日本全域及び国外

〒110-0016
東京都台東区台東1-12-11 青木ビル3F
電話：03-3834-6566
E-mail: info@ramnet-j.org
<http://www.ramnet-j.org/>



今後の
展望

「田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト」が、加速・拡大・主流化し、2020年度内にはSDGsとCBDの新戦略計画を組み入れた新・田んぼ10年計画が始動し、生物多様性の劣化防止にさらに貢献する。

